

## - CONTENTS -

1. 新経営体制でグループの企業価値を向上
2. 社内表彰をスタート、従業員のモチベーション向上を促進
3. 2020年卒向け総合職インターンシップをスタート
4. グループ初の企業主導型保育事業を沖縄市と那覇市にて開始
5. スーパーフレックスな短時間勤務ができる「登録制アルバイト制度」を導入
6. 働きながら保育士資格取得を目指す「ワーク&アカデミ制度」本格スタート
7. 無料セミナー「こどもたちの『得意な学び方』を活かす保育について～保育園を巡回している心理士から学ぶ～」を開催
8. 日本保育サービスがNPO法人キッズドアから感謝状を拝受
9. パラ卓球 鈴木伸幸選手がUSオープンで3位入賞

## 1. 新経営体制でグループの企業価値を向上

株式会社JPホールディングスは、2018年6月28日開催の第26回定時株主総会および取締役会におきまして、下記の役員人事を決定しました。同日付で代表取締役社長に就任した古川浩一郎のもと、新たな経営体制をスタートすることになりました。

### 【新経営体制の概要】

代表取締役社長 古川 浩一郎（変更前：取締役）

取締役 西井 直人（再任）

取締役 坂井 徹（新任）

取締役 福岡 明彦（新任）

### 【代表取締役社長 古川浩一郎 略歴】

1962年2月9日 生

1985年3月 慶應義塾大学商学部卒業

1985年4月 大和証券(株)入社

2000年2月 当社入社 広島営業所長

2000年6月 当社取締役

2004年10月 (株)ジェイキッチン取締役

(株)ジェイ・プランニング販売取締役

2006年1月 (株)ジェイキャスト取締役

2013年3月 (株)日本保育総合研究所取締役（現任）

2017年3月 社会福祉法人紺碧の会理事（現任）

一般社団法人全国保育連盟理事

2018年6月 当社代表取締役社長（現任）

2018年7月 一般社団法人全国保育連盟理事長（現任）

(株)日本保育サービス取締役（現任）



## 【新経営体制移行の狙い】

新経営体制のもと、ガバナンスの強化とさらなる企業価値向上を目指した当社グループの取り組みについて、下記の通りお知らせいたします。

### 1. 役員報酬の大幅な減額

これまでの経営姿勢ならびに経営の混乱を重く受け止め、役員報酬は大幅な減額を行い、約50%削減をすることを決めました。会社の経費に無駄がないか、率先垂範して支払い内容の見直しを実施します。逆に必要な経費を削減して事業の成長を止めていないか、その見直しも実施します。

### 2. ステークホルダーとの良好な関係の構築

従来、コミュニケーションの不足などで、ステークホルダーとの良好な関係を築けていませんでした。新経営体制ではこれから推進する施策を理解してもらえよう、情報を開示して信頼関係を深め、企業価値を高める努力をしていきます。

### 3. グループ全体の営業力と組織力の強化

グループ利益の源泉である日本保育サービスをはじめとする事業子会社が効率性と戦略性を持って運営をするためには、ホールディングスの運営方針・施策が各子会社にダイレクトに伝わり、一体的に行動をとれる組織体制を構築する必要があります。そのために、子会社の戦略・組織を再度見直すとともに組織の改編、業務執行上の決裁をスピーディーに行う経営会議の新設、グループ組織運営の基盤となる部門の充実を図ってまいります。

### 4. 保育品質の一層の向上施策の実現

現在、当社が運営する子育て支援施設の数・お預かりするお子様の数は、子育て支援事業企業として最大規模です。待機児童対策等から、多くのお子様たちを受け入れることは社会的に大きな使命ですが、一方で保育の質を高めることも、一層必要になってきます。「選ばれる保育所」であることは、今後の事業を成長させるキーワードであると考えています。そのためには、「安全・安心を第一に」「いつまでも思い出に残る施設であること」「本当に求められる施設であること」「職員が楽しく働けること」というグループ運営理念に基づき、保育の基本的なノウハウを再度確認し、アスクの強みを向上させる施策を展開してまいります。

### 5. 人事制度の見直し

会社の一番大切な資産は人です。特に保育事業は、保育士を中心に現場で知恵を出し、汗をかくて働く従業員たちのパワーに支えられています。そのため、給与のみならず、公平な評価の実施、資格制度、教育研修など一層の充実を図る必要があります。将来的な営業戦略を踏まえ、人事制度を見直し、人事部門の充実も検討します。

当社グループは引き続き、より多くのステークホルダーの皆様に当社の新たな経営体制に基づく経営方針についてご理解・ご支援を得られるよう、コーポレート・ガバナンス及びコンプライアンス体制の更なる強化を図り、企業価値の向上につながるよう邁進してまいります。

## 2. 社内表彰をスタート、従業員のモチベーション向上を促進

JPホールディングスグループでは、グループ総合職職員を対象にした社内表彰を2018年7月からスタートしました。

当社グループでは、従業員一人ひとりが経営者意識を持ち、全員参加型の経営体制に変革してきたいと考えています。そのためには「会社は自己を磨き、スキルを上げて行く場である」という企業風土を醸成をしていく必要があります。

そこで、一月に一度、各部署から推薦を受けた「成果を上げた、努力した総合職職員」の中から社長賞を決定・表彰することにいたしました。



これにより、地道ではあるが貢献度が高い取り組みが社内で周知され、さらに上のレベルに挑戦しようとするモチベーションおよび業務における意識の向上が図られることを期待しています。

## 3. 2020年卒向け総合職インターンシップを開催

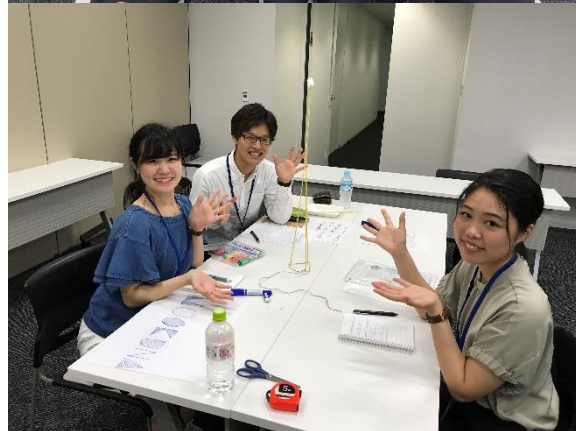
JPホールディングスグループでは2020年卒向けの総合職インターンシップをスタートしました。7月2日・3日の2日間に開催した初回には、大学3年生7名が参加、保育園・学童クラブの新規施設案件獲得のためのプロポーザルにチャレンジしました。

インターン参加者からは「保育園や学童クラブを訪問することで保育業界の現状を肌で感じることができた」「たった2日間だったけれど、かなり濃い時間を過ごすことができて参加して本当に良かったと感じることができた」など、好評な感想を頂きました。

JPホールディングスグループでは、今後、8～9月と12月、2月に各月2～3回ずつ、インターンシップを実施する予定です。8月は8月13日～15日と8月24日～28日に3日間コースの「新規事業の企画立案」、8月21日～22日に2日間コースの「新規施設案件を勝ち取るプロポーザル体験」のインターンシップを実施予定です。

インターンシッププログラムの詳細は以下URLをご覧ください。

<https://job.mynavi.jp/20/pc/search/corp200012/is.html>





#### 4. グループ初の企業主導型保育事業を沖縄市と那覇市にて開始 施設を利用する提携企業を募集－提携登録料無料－

JP ホールディングス傘下で、保育園の運営を手掛ける株式会社日本保育サービスは、グループ初の企業主導型保育事業を2018年9月に沖縄県沖縄市と那覇市の2か所にて開始、施設を利用する提携企業を募集します。

厚生労働省が昨年9月に公表した「保育所等関連状況取りまとめ（2017年4月1日）」によると、沖縄県の待機児童数は東京都に次ぐ全国2位と非常に多く、保育所の整備が求められています。日本保育サービスは、2016年9月に那覇市に、2017年4月に沖縄県中部の北谷町に、2017年7月に石垣市に認可保育園を開設していますが、このたび、多様化している保育ニーズを受け柔軟な保育サービスを提供できる企業主導型保育事業を開始することにいたしました。

今回開設するアスクあけぼの海宝保育園とアスクのぼりかわ保育園は、日本保育サービスが設置主体となり、内閣府が待機児童問題の解消と仕事と子育ての両立の支援を目的に進める「企業主導型保育事業」として認められた施設です。開設にあたり、施設を利用する提携企業を募集します。提携企業は施設設置のイニシャルコストの負担なく、全国198の保育園を運営するJPホールディングスグループが提供する安全・安心な保育サービスを受けられ、自社の従業員のこどもの預け先を確保することができます。

また、保育士を中心とする日本保育サービスの従業員は自身のこどもを預けることができますので、保育士の職場復帰支援にもつながると考えています。



【アスクあけぼの海宝保育園 外観】



【アスクのぼりかわ保育園 外観】

当社は、今後も子育て世代が多様な働き方を選択できる環境づくりを目指すとともに、待機児童問題の解消に貢献できるよう様々な取り組みを実施してまいります。

**企業提携に関する問い合わせ先**  
株式会社日本保育総合研究所

担当：土屋・小熊 03-6455-8041  
那覇オフィス担当：本多 080-3751-6558

## 5. 1日3時間からOK、スーパーフレックスな短時間勤務ができる 登録制アルバイト制度を導入

株式会社日本保育サービスは、2018年3月から募集を開始していた登録制アルバイト制度を5月から本格導入いたしました。本制度は、最短1日3時間働くことができれば登録可能な短時間勤務制度です。こどもと関わる仕事に興味をもちながらも時間的制約により働けなかった層にアプローチすることができ、潜在保育士の掘り起こしにもつながると考えています。

本制度は、登録者の希望勤務時間と日本保育サービスが運営する複数の施設側のニーズをマッチングすることで、登録者が自分の都合に合わせて働ける環境を提供します。登録者は通える施設の範囲を面談時に相談し、シフト希望を1週間前までに提出します。その後、担当者が施設のニーズとマッチングして5日前までに働く施設を決定、登録者に連絡をします。授業やサークル、就職活動で忙しい学生や、家事・育児で時間の制約がある主婦など、勤務可能な日時が直前まで確定できない方が、すきま時間を活用できる新しい働き方です。

### 「登録制アルバイト」雇用条件

#### 【勤務地】

- 日本保育サービスが運営する保育園・学童クラブ・児童館
- ・保育士資格をお持ちの方は東京都・神奈川県内の施設
- ・保育士資格をお持ちでない方は東京都内の施設

【給 与】 時給1000円＋交通費全額支給  
保育士資格をお持ちの方が保育園で勤務する場合は時給1100円

【登録条件】 最短1日3時間働くことができれば登録可能

当社グループには、子育て中の保育士や放課後児童支援員が数多く在籍しております。自身のこどもの行事などで休みを取りたい時に登録制アルバイトがシフトに入ることができれば、同僚のシフトに影響が出にくく円滑な施設運営が可能となります。また、この制度を利用して、家庭の事情でフルタイム勤務が難しくなった正社員が登録制アルバイトに切り替えて働き続けており、職員の定着率を上げる効果も見込まれます。

当社グループは引き続き、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方を推進し、多様な人材が活躍できるための働き方改革を推進してまいります。

### 求人に関する問い合わせ先

株式会社日本保育サービス 採用担当 0120-066-610 c-saiyou@nihonhoiku.co.jp

## 6. 保育園や学童クラブで働きながら保育士資格取得を目指す『ワーク&アカデミー制度』を6月より本格スタート

株式会社日本保育サービスは、保育園や学童クラブでの実務経験を積みながら保育士資格取得を目指す方を支援する『ワーク&アカデミー制度』を2018年6月より本格的にスタートいたしました。

本制度は、独学で保育士資格試験を受験し保育士資格取得を目指す方に対して、教材費と受験料を全額補助し、質問・相談受付窓口での学習支援や、勉強会・研修への参加機会を提供します。また、最終学歴によっては、保育士資格試験を受験するために児童福祉施設での実務経験が必要なことが、資格取得の一つのハードルとなっています。本制度を利用すると、受験資格を得るための実務経験を積みながら、試験合格への支援も受けることができます。

5月中はグループ企業内で制度利用希望者を募っておりましたが、6月より新規採用の方に対しても募集をスタートいたしました。

### 『ワーク&アカデミー制度』概要

- 対 象 者： 独学で保育士資格試験を受験し保育士資格取得を目指す方  
雇用形態： 正社員・契約社員・アルバイト  
勤 務 地： 日本保育サービスの運営する保育園または学童クラブ・児童館  
給 与： 雇用形態・勤務地等による  
制度内容： ①教材費の全額補助（入社後360時間勤務後に教材を無償支給）  
②保育士資格試験受験料の全額補助  
（合格通知書と引き換えに支給）  
③質問・相談受付窓口での学習支援や、勉強会・研修への参加機会の提供  
④受験資格を満たすための実務経験の場の提供  
募集期間： 2019年3月末まで

※採用選考がございます。

※制度利用人数枠には上限がございます。

本制度により、従業員の保育士資格取得を促進することで、さらなる保育の質の向上に努めてまいります。また、児童福祉施設での実務経験がない方にとって本制度が資格取得を目指すきっかけとなり、保育士不足の解消に貢献できることを期待しております。

### 求人に関する問い合わせ先

株式会社日本保育サービス 採用担当 0120-066-610 c-saiyou@nihonhoiku.co.jp



## 7. 無料セミナー「こどもたちの『得意な学び方』を活かす保育について～保育園を巡回している心理士から学ぶ～」を開催

株式会社日本保育総合研究所は、6月30日に無料セミナー「こどもたちの『得意な学び方』を活かす保育について～保育園を巡回している心理士から学ぶ～」を開催しました。

セミナーでは保育園を巡回している心理士の熊上藤子が、「自分の得意な学び方」を知るワーク、2018年5月に日本保育学会第71回大会で発表した「心理検査KABC-IIを用いた就学前児への長所活用型支援」について紹介、巡回相談を通じての事例紹介、などを行いました。



参加した方々からは、「ワークを通して自分の得意な処理方法を知ることが出来、自分のこども、クラスのこどもへの伝え方を考えるきっかけになりました。」「事例を見て自分のクラスの子はどうだったかな、こうした方が伝わりやすかったかもと考えることができました。」「といった好意的なご意見を多数いただきました。

日本保育総合研究所では、今後も保育士が現場ですぐに活かすことができる実践的なセミナーを企画してまいります。

## 8. 日本保育サービスがNPO法人キッズドアから感謝状を拝受

6月8日、株式会社日本保育サービスは、困難な生活環境のこどもたちを支援するNPO法人キッズドアから感謝状をいただきました。

「こどもの約6人に1人が貧困」と言われている現在の日本。貧困のため進学をあきらめ、大人になっても貧困から抜け出せない「貧困の連鎖」も起きています。

日本保育サービスは、キッズドアの学習支援活動にボランティアで職員を派遣したり、保育士志望の中学生・高校生に保育園の園長と施設運営担当者が、保育士の仕事内容・やりがいについて話をしたり、活動をサポートしています。職員たちは、学習支援活動やキャリア教育などを通じて、こどもたちに学ぶ楽しさを伝えるとともに、子育て支援企業の一員として社会や地域に貢献できることを学ばせていただいています。

これからも「こどもたちの笑顔のために…」職員一人ひとりができることを考え、グループ企業の強みを生かした社会貢献活動をしてまいります。



## 8. パラ卓球 鈴木伸幸選手がUSオープンで3位入賞



2018年6月28日から7月3日にアメリカ・ラスベガスにて開催された「USオープン」にて、株式会社日本保育サービス所属でパラ卓球世界ランキング15位の鈴木伸幸選手が3位に入りました。

鈴木選手は8月29日～9月2日に中国・北京で開催される「中国オープン」に出場予定。ランキング上位の選手に勝てるよう、やるべき事を整理しながら練習に励んでいます。